

進もう！伸びよう！常に新しく！

会長 飯田 精鷹

「よく学び、よく遊ぶ」の千代田。
四月三日、今年も観桜吟行会を千
鳥ヶ淵の爛漫の花の下、場所を移し
て宮崎県東京ビルで楽しく開催、心
地よい吟声のハーモニーに酔う。
続いて十七日、春の昇伝審査、春

岳精流日本吟院

ちよ多

第 2 1 号

平成 1 6 年 9 月

千代田岳精会弘報

平成十六年度岳精流指標

爽やか

夏秋冬を賞で、寒暑風雨にも負けず
練磨した吟詠の審査。その声は名残
りの八重桜の咲く九重にも響いた。
さて、今年の宗家の指標は「爽や
か」。健康な人生を吟を通して幸せ
に送ろうと言う。この幸せを一人で
も多く広めようと言う『会員増強キ
ャンペーン』である。折しも千代田
では本年度「進もう！伸びよう！常
に新しく！千代田吟道いざ友よ！」
と吟歴浅い人を対象に「躍進クラブ」
をスタートさせた。

昨年発足の「詩歌研修会」「演奏
研修会」に続き、よく学ぶ千代田吟
道大学の一環である。

これまでピアノや他楽器伴奏によ
る詩吟、歌の好きな人達が集まって
唱歌、童謡、歌曲等を楽しんで来た
経緯がある。これ等現代詩（明治以
降）は訳詩、作曲等素晴らしいもの
が多い。今時の若い人達には、詩吟
の絶句、律詩の堅調さが敬遠されが
ちである。入り込めば天地・人生を
詠じて素晴らしい展開が待っている
けれども、直ちには理解され難い。
多くの人が馴染んでいるカラオケで
歌う演歌他は、別のジャンルで、吟
の目するものからは一寸遠い。
宗家はまず俳句、短歌、現代詩あ

たりから、その節調、詩文（漢字・
仮名まじり文）を求めて、歩を進め
たらと言われる。

さて、千代田岳精会が出来て廿年
近く、総勢百五十六名中、五十代六
十代の若人は七十二名（内女性三十
名）年齢差はありますが、教場長推
薦の約三十人、将来の指導者を目指
して集まりました。

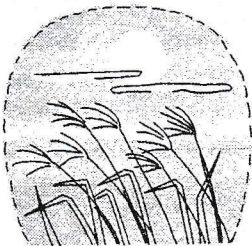
校長 吉川鐘風
副校長 山口隆泉
教授 田中香山、徳本順泉
橋本淳泉

実技指導 会長、副会長
毎月一回、吟及び知識の勉強

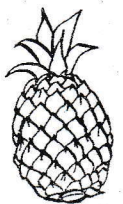
真・善・美、岳精会会詩
漢詩の勉強、鑑賞の仕方等
発声練習（声帯の使い方、腹式呼
吸法）

流統節調の練磨
強く美しく

今や躍進の若人を待望する秋。
進もう！伸びよう！常に新しく！
志は高かるべし！今日より明日を！
何時でも夢を！躍進の旗翻る！



心の洗われるような一日



今年は、空模様には気遣わずチャーターバス等で到着する遠来の会員方、川崎駅より会場へ急ぐ和服姿が続きました。

今年の大会で一番印象深かった事は、ご高齢の宗家の力強いご挨拶と氣力溢れる吟声。満場を圧倒する程で嬉しく思いました。

今年は接待係を担当、新しい役割を落ち度なく進めるには大変なエネルギーを事前準備、当日の運営に要するものです。大田晴山事業部門リダーはじめ担当の各教場、婦人部門の方々が取り組みました。全員合吟は早い出番で、担当役割の準備の慌ただしい中でしたが、お馴染み蘇軾作「春夜」に飯田会長先導で気分良く声を揃えました。

注目の合吟コンクール、新進氣鋭を集めた女子チームがコンクール部門、林吾風、菅原琴風正副リダーの指導で「貧交行」杜甫で挑戦。なみいる強豪、上手のなかトロフィーには届きませんでした。が、ひいき目もいれると僅差の五位？と大健闘で次の挑戦が楽しみです。なお、磯田副会長が指導本部員として初めて審査員を務められました。第六部の企画構成吟「歴史を彩る

華を詠う」には語りを鈴木重風（ハザマ）企画構成の一員として山口隆泉（丸二）が担当し取組みました。

この会場で、最高位の総伝師範の任命者十名が発表され、その一人として飯田会長が宗家から許証を受けられ、「精鷹」となられた。

大会委員長の滝田幹事長が、挨拶で千代田の名前は上げられなかったが「躍進啓発部門」の取組みに触れ会員増加を呼びかけられた。

大成功裏に終わった大会を総括すると好きな「吟道」と真面目に向かいあう沢山の全国の仲間の存在を認できた事であろう。

接待係としての担当各位の働きは宗家からも高い評価と慰労の言葉がありました。

合吟コンクールに出場して丸の内女子教場 本多 敦子

入会して一年程になります。菅原先生からコンクールに出場する機会を与えて頂きました。神田教場の方達と練習を重ねて当日を迎えられた。会場に着いてから、全国大会となると大変な規模で緊張感が一層高

まるのを感じました。

入賞を果たす事は叶いませんでしたが、精一杯やり遂げたという満足感がありました。ご指導下さいました菅原先生に心から感謝申し上げます。又神田教場の皆様にはいろいろお世話いただきました。有難うございました。

今回入賞された処は、流石に吟が素晴らしかった事は勿論ですが、口の開き方、手の組み方、振舞い等整然としていました。

合吟コンクールに出場するに当たっては、全員が（一氣）を一つに纏めるという事が如何に大切な事なのか、また練習は重ねる程に結果に繋がるという事を更めて実感いたしました。



H.O.

星 野 久 山 <清 水>

平成十六年度教場長（正副）

井手龍樹丸の内第一教場長の急逝により、五月一日付で新しく正副教場長が任命されました。本年度の教場体制は次の通りとなります。

丸の内第一 教場長 大熊 清風 副教場長 江口 越山	丸の内第二 教場長 岩崎 泰風 副教場長 吉川 鍾風	草加分室 分室長 太田 翠風	東陽町 教場長 耳塚 昇山 副教場長 太田 晴山	清 水 教場長 村上 恒山 副教場長 大槻 銓山	神 田 教場長 林 吾風 副教場長 酒井 帆山	ハザマ 教場長 鈴木 重風 副教場長 佐藤 甲山	錬 水 教場長 菅原 克山 副教場長 加藤 錬山	丸の内女子 教場長 菅原 琴風 副教場長 穴倉 虹風
--	--	----------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	-------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--

平成十六年度温修会十月廿三日（土）

いきいきプラザ一番館で



規模、雰囲気共に最高と評価が高かった深川江戸資料館は、希望の日程が手配出来ず会場確保に苦労したが、担当教場の努力で例年より稍早めながら十月廿三日（土）に千代田区一番町の「いきいきプラザ一番館」カスケードホールと決定した。

今年の特色は、無伝の部、初伝の部の独吟コンクール。教場別企画構成吟。全国吟詠吟剣詩舞道コンク

ル入賞者十五名の凱旋吟詠の三点。コンクール出吟者はCDでの練習に、企画構成吟については各教場テーマを選び趣向を凝らした準備を進めており、興味が尽きない。

恒例となったコンダクター演奏は月一回の研修成果を「春望」杜甫で問うべく磯田副会長、荻裕山リーダーの指導で猛練習を重ねている等充実した内容になりそうだ。

珠玉の宝物・三十分の風呂教場
丸の内第一教場 木村槻泉

明日への活力増進と精神的な健康管理法として、風呂での十吟が一日の疲れを癒します。単純計算ながら一吟二分として十吟で廿分、題名、作者、若干の予備知識として吟題にまつわる故事来歴を考える概ね三十分の浴槽が、私にとって最適のストレス等解消法であり、毎日の楽しみでもあります。

妻が「お父さんが又、お風呂の中でウーとか、アーとか、オーとか唸っているよ」と言うとか娘が即応して「お母さん安心して、声がしている内は、お風呂の中に沈んでいないんだから」との会話もあるらしい。

一応、私なりにセオリがあり、宗家の真善美、岳精会会詩から吟という陶醉の世界に入り、風呂の湯気にも耐えられるビニール製のフアイル綴じの冊子に自分流にAランク十吟、Bランク十吟、Cランク十吟を集め、当日のフイリリングに合った吟を選ぶ。こんな心心地よい時間・場所・心境を持つ贅沢、充実感を味わえるのも、丸の内書簡部在任中大御所とは露知らずヒョンな出会いから飯田会長のお誘いに軽い気持ちで乗ったのが吟との出会いです。

この至福を飯田会長・第一教場の故井手先生をはじめ吟の諸先輩に感謝し、併せて井手先生のご冥福を心からお祈りいたします。



都大会・東日本大会に堂々の入賞

毎年挑戦者が増加し、各地区コンクールでは入賞者を輩出しましたが、都県大会・東日本大会でも大活躍がありました。

地区予選を勝ち抜いた精鋭が集う都県大会のうち、東京都一般三部で林吾風神田教場長が優勝、金子千枝子さん（東陽町）が七位入賞と大健闘、岳精流からは、この二名が東日本大会へ堂々の出場という快挙。

続く、東日本大会は七月三日、一般三部で五十二名が全国大会を目指すなかで林吾風神田教場長が五位、金子さんが七位入賞と、又々輝かしい成果であった。

全国大会出吟へあと一步と迫ったご健吟に拍手を送りましょう。



コンクール東京都大会優勝
東日本大会五位入賞！

神田教場長 林 吾風

去る三月、日本吟剣詩舞道振興会主催の独吟コンクールが全国各地で行なわれ、東京都でも三十地区で開催。一般三部では、五月十五日上位入賞者百六十名の参加で大井町の日

本民謡会館ホールで東京都代表選抜戦が行なわれ、図らずも優勝するこ

とが出来ました。

続いて七月四日、赤羽会館での東日本（関東、東北地方と山梨、新潟）大会に一般三部五十二名が出場し、五位に入賞しました。全国大会出場は二位迄のため残念ながら叶いませんでした。ただ東日本三部へは岳精流からは金子さんと二人だけが出場、その千代田の二人が揃って入賞出来たことは、我がことながら本当に素晴らしい事と、金子さんの健闘を讃え、併せて快哉を叫びたい気持ちで一杯です。

宗家先生には格別お喜びになられ有難いお言葉を頂戴しました。会長始め多くの方々からもお祝辞を頂きました。ご指導、アドバイスを賜りました諸先生に、更めて厚くお礼申し上げます。

今回のコンクール出場に当り特に意を用いたことは、まず吟題の選択です。上位入賞者の大半が「半夜」でした。私も金子さんも同じです。吟じ易く詩心表現が出し易いと思われたからです。スポーツクラブに通い、腹筋強化を中心とした運動に励んだことも良かったと思っています。

李白・杜甫・王維の盛唐三大詩人、唐詩自然派の源流陶淵明を終え、十六年度も次のように月一回の開催を続けています。多くの会員の参加をお待ちしています。

四月廿三日

漢字がもたらした日本語の不思議

前田達泉（ハザマ）

五月廿八日

王之換 涼州詞、鶴鵲樓に登る

大槻鉾山（清水）

崔顥 黄鶴樓 山口隆泉（丸 二）

中国文学あれこれ

前田道山（東陽町）

六月廿五日

王昌齡 芙蓉樓にて辛漸を送る

宮沢修山（ハザマ）

全 從軍行 耳塚昇山（東陽町）

全 閨怨 上田也山（東陽町）

七月廿三日

孟浩然 洞庭に臨む、春曉

八田玉泉（丸 二）

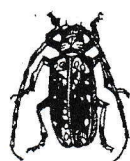
王翰 涼州詞 鈴木重風（ハザマ）

八月廿七日

高適 董大に別る

大槻鉾山（清水）

晁衡 無題 青木洋山（東陽町）



東陽町教場 上田 也山

永久に流れる 李白の詩

ご存知「夏の思い出」の下手なパロディである。時の流れは早いもので吟友一行六名が、かの地に降り立って早や五年が過ぎた。正確には一九九九年七月十八日、長江のとある小さな船着場に着く。白帝城までの道程はかなり急峻、八百の石段で繋がっていた。旅の前途を考え少々体重過多の私は唐竹駕籠に飛び乗った。揺れる駕籠の横を最長老・軽量のSさんが飄々と追いついて行く、脱帽。登りつめると、そこは船から仰ぎ見た白い城門の前。門には白帝廟と刻まれていた。此処は三国志で有名な蜀帝・劉備の終焉の地。門をくぐると劉備が我子劉禪を諸葛孔明に托した托孤堂、星を觀測し吉兆や戦況を占った望星亭、杜甫が滞在した西閣などが再現されていた。

この城は前漢の王・公孫述が築いたものだが、自らを白帝と称したの

る所。

かに刻まれていた。

李白

早に白帝城を發す

朝辭白帝彩雲間

千里江陵一日還

輕舟已過萬重山

めて木霊した。

達し、謎は益々深まる。

平成十六年度昇伝者（六月四日付）
おめでとうございます
中 伝 清 水 星野 久山



全国吟剣詩舞道大会千代田より
本部女子チームに参加出場

十一月十四日、武道館で開催の大会は本部女子チームが「山中問答」李白作でエントリーされている。渡精華副幹事長の指導で猛特訓に入っており、千代田では神田五名、鍊水一名、丸女四名の十名が参加しています。吟友の皆さん応援をお願いします。また、これまでの参加者は、異口同音に「武道館の壇上に立つ事と同じ位にこの特訓が、その後、に貴重な財産となった」と感想があり、今後の躍進が期待されます。

『新会員紹介』

◇丸の内第二教場
犬飼 堯氏（五月入会）

大（〇）型新人犬飼さんをご紹介
します。鎌倉の住人、鎌倉の事は
非常に詳しい（特に夜の鎌倉）。
また、鎌倉風の会、歩く会等々何
でもござれます。大声を上げる事
が大好きで吟を始めました。
早くも片鱗が表れています。
乞うご期待！

◇神田教場
安楽 威氏（五月入会）

酒井帆山さんの勧誘をうけ、昨
年暮れの江東区の深川江戸資料館
での温習会を拝見し入会を決意さ
れました。「勿論、将来どこまで
上達出来るか自信はないが、やる
だけはやってみましょう」とのこ
とです。

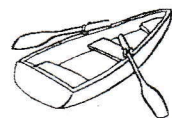
平山 順一氏（五月入会）

縁あって酒井さんのお誘いによ
り、今回入会しました。はるか昔
の若かりし日、一時吟をやったこ
とがあります。ゼロからのスタ
ートのつもりで仲間入りさせて頂
きます。宜しく願います。

◇ハザマ教場
山本 忠次氏（八月入会）

会社の（ハザマ）のOB会で、
当教場仲間からの熱心な勧めを受
けて入会。廿年のキャリアを誇る
絵画（油絵）では、毎春、上野の

美術展に出展。一方向3回位のゴ
ルフを楽しんで来られ、今度はこ
れに「吟」が楽しみを加えられた
ことになります。



事務部門リーダーが交替

前号で掲載の本年度機構図の内、
長年にわたり事務部門リーダーを務
められ事務体制を確立された八尾葉
山氏が健康上の事情で交替されまし
た。後任人事は次の通りです。

事務部門リーダー

菊地 駿泉（東陽町）

全 サブリーダー

八尾 葉山（東陽町）

平成十七年度昇任審査指定吟題

初伝 佳實好主

偶作

中伝

中秋の月
山房の夜雨

（短歌二題）

奥伝

独柳

（俳句二題）

皆伝

元二の安西に使いを送る

青山の歌

頼山陽

佐藤 一斎

横井 小楠

蘇軾

木下 犀潭

（後報）

杜牧

大野 恵造

（後報）

王維

山陽

明治安田生命丸の内本社ビル
いよいよ竣工！

千代田岳精会の所在地「明治安田
生命」の丸の内ビルの増築工事は、
三十階の高層ビルとして、二重橋前
のお濠端に偉容を現わした。本社各
部門の移転が始まっており、一段落
すると再び会議室の借用が認められ
ると期待するが、当分諸会議、教場
は場所を変えて実施することになる。

編集後記

集中豪雨、台風の到来で各地に大
きな被害が出た。復旧にボランティ
アが各地より駆けつけ、馴れない作
業に奉仕する地道な活動に加えて、
支援募金の中に一等当選の宝くじ二
億円を匿名で被災地に送った方。沢
山のうれしい思いやりに爽やかな感
動の輪が広がりました。

発祥の地アテネで一〇八年ぶりの
オリンピック。世界の若人が集い宗
教・思想を超えた爽やかな戦い。日
本選手の期待を超える大活躍。

甲子園では真紅の大優勝旗が初め
で津軽海峡を越えた。日焼けした球
児達の熱闘、どれも感動があります。

一方、イラクは武力衝突が止まら
ず死傷者が続出。隣国中国や北朝鮮
の刺々しい反日感情。
世界は様々です。
（八田）